

2024年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 一宮商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価														今後の展開・改善点等	備考				
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価											
巡回・窓口相談指導事業	一般的に経営基盤の弱い小規模企業を中心に、経営指導員等商工会職員が巡回及び窓口に於いて事業者の経営、労務等の相談に対応し、経営及び技術の改善を図り、経営課題の解決に繋がる支援を行う。	1. 巡回窓口指導延件数 450件 (内非会員 29件) 2. 巡回窓口指導実企業数 112件 (内非会員 9件) 3. 課題解決提案件数 9件 4. 経営革新承認件数 0件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 132.4 %)			指標	課題解決提案件数 (達成度 45.0 %)			専門家を活用して内容の濃い支援を行った。		総合評価	B	事業実施評価側の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	課題解決提案件数が伸びないので課題解決提案に繋げるためのきっかけづくりを模索する。
				目標数値	340	実績数値	450	目標数値	20	実績数値	9						B		B	現行どおり	現行どおり		
																	目標達成度		必要性	実施方法①	実施方法②		
																	B		B	現行どおり	現行どおり		
記帳継続指導	商工会職員が個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結びつける。	1. 指導対象事業所数 36件 2. 指導日数 236日 3. 指導回数 509回	小規模事業者	指標	指導対象者数(人) (達成度 100.0 %)			指標	(達成度 %)			記帳方法の指導、決算・確定申告の指導により適正な税務申告と計数管理による経営状況の把握に繋げる。		総合評価	A	事業実施評価側の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	引続き適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上を図る。
				目標数値	36	実績数値	36	目標数値	実績数値		A						A		下げる				
											目標達成度						必要性		実施方法①	実施方法②			
											A						B		現行どおり				
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な経営分析、事業計画策定等の知識習得や自治的な問題についての啓蒙を図り、事業者の資質の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	1. 集団講習会 ①実施回数 5回 ②参加者数 67人 2. 個別講習会 ①実施回数 11回 ②参加者数 63人	小規模事業者	指標	指導回数(回) (達成度 80.0 %)			指標	参加者数(人) (達成度 80.7 %)			対話型生成AIツールはテーマとして反応が高いと思っていたが受講者数は伸びなかった。		総合評価	B	事業実施評価側の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	受講者を増やす事ができる内容を模索する。
				目標数値	20	実績数値	16	目標数値	161	実績数値	130						B		B	下げる	下げる		
																	目標達成度		必要性	実施方法①	実施方法②		
																	B		B	現行どおり	現行どおり		
青年部・女性部事業	商工業者の後継者である青年、若手経営者及び商工業に携わる女性に対し、経営に必要な知識の習得や資質の向上を図るための講習会・研修会を開催し、小規模企業の振興・発展を目的とする。	1. 青年部活動 ①参加者数 14人 ②参加者数 102人 ・会議 ・事業 65人 2. 女性部活動 ①加入者数 22人 ②参加者数 23人 ・会議 ・事業 80人	小規模事業者	指標	加入者数(人) (達成度 100.0 %)			指標	事業等参加者数(人) (達成度 100.0 %)			事業の再開により参加人数が増え、目標の通り進めることができた。		総合評価	A	事業実施評価側の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	廃業や高齢による脱会者等があり、目標値を抑えた。
				目標数値	36	実績数値	36	目標数値	270	実績数値	270						A		B	下げる	下げる		
																	目標達成度		必要性	実施方法①	実施方法②		
																	A		B	現行どおり	現行どおり		
地域振興まつり事業	本宮まつりを開催することにより、その集客力を活かして地域店並びに商品の知名度の向上に務め地域観光資源(本宮の湯、砥鹿神社など)PRの機会とするとともに、地域の総合的な振興を図ることを目的とする。	1. 本宮まつり 開催日:10月27日(日) 地域活性化促進及び地域物産PR活動、集客イベント等を実施。 出店件数 17件	小規模事業者	指標	出店事業所数(件) (本宮まつり) (達成度 141.7 %)			指標	(達成度 %)			今回、新たにキッチンカーの出店を得てイベントを盛り上げた。		総合評価	B	事業実施評価側の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	集客の増加に繋がるような出店内容を心掛ける。
				目標数値	12	実績数値	17	目標数値	実績数値		B						B		上げる				
											目標達成度						必要性		実施方法①	実施方法②			
											A						B		現行どおり				
産業活性化事業	商業部会年末大売出しなど、地域の特性を活かした地域資源の活用や、特産品の開発普及・PRなどを行い、また、企業の発展及び地域産業の活性化に資することを目的とする。	1. 歳末大感謝祭 ①実施日 12月7日～12月22日 ②参加店舗数 37店 ②三角くじ販売セット数 309セット	小規模事業者	指標	参加店舗数(店舗) (達成度 185.0 %)			指標	(達成度 %)			小委員会を4月から行い実施内容を練り直し非会員にも周知、役員により巡回依頼することで参加店を増やすことができた。		総合評価	A	事業実施評価側の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	令和6年度事業内容を大幅変更した。参加店舗数の目標は実績より下げないようにすることとした。
				目標数値	20	実績数値	37	目標数値	実績数値		A						B		上げる				
											目標達成度						必要性		実施方法①	実施方法②			
											A						B		現行どおり				
情報化推進事業	情報通信技術を活用して、会員に有益な情報を提供し、ビジネスチャンスの拡大や経営の質を高めるための取組みを実施し、商工業の活性化に寄与する。	1. ホームページ(情報提供) 一宮商工会ホームページによる小規模事業者、地域住民への情報提供 一宮商工会HP更新回数 82回	小規模事業者	指標	一宮商工会HPの更新回数(回) (達成度 82.0 %)			指標	(達成度 %)			新しい情報へ随時更新ができています。		総合評価	B	事業実施評価側の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	新情報を随時更新していくと同時にスマホ閲覧時のレイアウトを改善し見やすくする必要がある。
				目標数値	100	実績数値	82	目標数値	実績数値		B						B		現行どおり				
											目標達成度						必要性		実施方法①	実施方法②			
											B						B		現行どおり				

団体名： 一宮商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる 対象者	事業 評 価															今後の展開・改善点等	備考			
				目 標①				目 標②				得られた効果	ABCD評価										
労働保険事業	事業主の委託を受けて、労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種届出等の事務手続きを行うことで、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適正徴収を図ることを目的とする。	1. 事務委託事業所数 30件	小規模事業者	指標	事務委託事業所数(件) (達成度 107.1 %)			指標	(達成度 %)			労働保険の適正な事務処理ができた。	総合評価	A	事業実施評価の側面	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	現行どおり進めていく。	
				目標数値	28	実績数値	30	目標数値		実績数値						A		必要性	B	上げる	実施方法①		実施方法②
				目標数値	28	実績数値	30	目標数値		実績数値						A		必要性	B	現行どおり			
経営強化事業 (一宮経済同友会)	講演会、異業種交流を兼ねた懇談会を実施し、各企業の経営基盤の強化、ビジネスチャンスの創生により、地域商工業の発展に寄与することを目的とする。	1. 加入者数 31人 2. 役員会議他 ①会議実施回数 7回 ②参加者数 ・会議 72人 ・事業 92人	小規模事業者	指標	加入者数(人) (達成度 91.2 %)			指標	事業等参加者数(人) (達成度 102.5 %)			止むおえない事情で、加入者数が減少しているが、事業等参加者数は目標値を減少することにはなかった。	総合評価	B	事業実施評価の側面	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	加入者数は実績に合わせ、現行どおり進めていく。	
				目標数値	34	実績数値	31	目標数値	160	実績数値	164					B		必要性	B	下げる	実施方法①		実施方法②
				目標数値	34	実績数値	31	目標数値	160	実績数値	164					B		必要性	B	現行どおり	現行どおり		
産業団体事業 (一宮飲食店組合)	各種団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより商工業の活性化に資することを目的とする。	1. 産業団体加入事業所数 飲食店組合 加入者数 34人	小規模事業者	指標	加入者数(人) (達成度 103.0 %)			指標	(達成度 %)			産業団体を支援することにより組織の活性化に繋がった。	総合評価	A	事業実施評価の側面	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	目標値を実績に合わせ、事業を進める。	
				目標数値	33	実績数値	34	目標数値		実績数値						A		必要性	A	上げる	実施方法①		実施方法②
				目標数値	33	実績数値	34	目標数値		実績数値						A		必要性	B	現行どおり			
若手後継者育成セミナー	現在、青年部員の数は横ばいを推移し活動を進めていくのが難しくなっている。経営者となる若手後継者及び若手経営者がこのような状況下でも今後変化が加速する経営環境に迅速に対応する必要がある。そのために本事業を活用し、経営に必要な知識の習得や資質の向上を図るための勉強会を開催することで、若手後継者、若手経営者のレベルアップを目的とする。	1. 若手後継者育成セミナー「SNS活用講座」 ①実施回数 1回 ②参加者数 13人	小規模事業者	指標	セミナー参加者数(人) (達成度 260.0 %)			指標	セミナー参加者満足度(%) (達成度 125.0 %)			売上増加のためのSNS活用方法についてセミナーを開催し、今後変化が加速する経営環境に柔軟に対応するための知識の習得や資質の向上を図った。 複数のSNSツールの活用方法について、実際の事例をもとに実施方法や応用策を学び、今後の経営への一助になったと考えられる。	総合評価	A	事業実施評価の側面	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	次年度も現行どおり進め、若手後継者等の支援を行っていく。	
				目標数値	5	実績数値	13	目標数値	80	実績数値	100					A		必要性	A	現行どおり	現行どおり		
				目標数値	5	実績数値	13	目標数値	80	実績数値	100					A		必要性	A	実施方法①	実施方法②		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。